

令和7年度 愛知県における特色ある公民館活動

実施団体 基礎情報

所在地

新城市

公民館対象人口

約1万人

主催している主な事業等

<事業>

- ・西部公民館管理運営事業
- ・共育講座
- ・学習サポート
- ・ミニ講座・深堀講座
- ・異世代交流講座

<特色>

- ・中学校と小学校が公民館に隣接している

活動の様子



学習サポートの様子

担当課：新城市教育委員会
生涯共育課

地域名

東三河支部

実施団体

新城市西部公民館

テーマ

西部公民館を活用した子供の居場所づくり

ねらい

千郷中学校との連携を深めて子供の居場所づくりを進めるとともに、中学生の知的好奇心に働きかける「学びを支援する講座」を開設し、異世代交流を意識した活動を通じて、子供と地域をつなぐ役割を担う。

取組の経過

● 日常的な呼びかけ

エントランス無料スペースを、親の迎えを待つ場所として開放した。

● 学習場所の提供と支援

勉強のための利用であれば、事前の予約や使用料なしで空き部屋を開放することとした。定期テスト週間には、市内の大学生や教員OBを学習サポートスタッフとして配置し、学習支援を行った。

● 幅広い学びの場づくり

ミニ講座・深堀講座を開催し、興味・関心のある生徒に参加を呼びかけた。ちさと郷土研究会と有志の中学生が協力し、児童クラブの小学生に紙芝居を披露する活動や、トヨタテクニカルディベロップメント株式会社に協力いただき、作手・古宮城のVR体験や自動運転をテーマとしたプログラミング教室を開催した。



成果と展望

<成果>

- 学習サポート週間は延べ161名が参加し、公民館で勉強する習慣が定着した生徒も出てきた。安心できる学習環境や、サポートスタッフとの関係性が学びを後押しする様子が見られた。
- ミニ講座では世代を超えた交流が実現した。
- 深堀講座（プログラミング体験）では先端技術に挑戦し、幅広い学びと協働的な学びが促進された。

<展望>

- 少子高齢化が進む中、地域活性化の鍵は、自分で考え判断し、人のために行動する力をもつ中学生の育成にある。公民館を子供たちの居場所として整備し、子供が地域と交流する機会を増やすことで、子供の元気を地域に波及させる活動を推進する。これにより、公民館が子供と地域を結ぶ役割を果たし、元気な地域づくりを支える拠点となっていけると考える。